

HiKOKI

取扱説明書

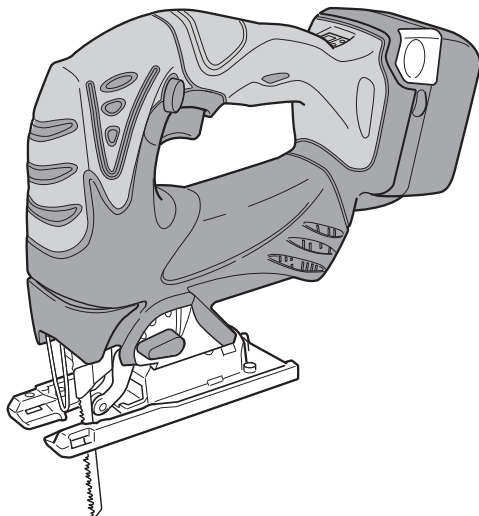
用途

- 各種木材の切断および窓抜き
- 軟鋼板、アルミ板、銅板などの切断
- ベークライト、塩化ビニールなど各種合成樹脂の切断
- 各種化粧板、薄物軟質新建材の切断
- ステンレス板の切断

コードレスジグソー

14.4 V CJ 14DSL

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	6
各部の名称	7
仕様	9
別売部品	10

はじめに

ブレードの取付け・取りはずし	13
チップカバーの取付け・取りはずし	14
六角棒スパナの収納について	14
刃口板の取付け・取りはずし	15
スイッチについて	16
電池残量表示について	17
オービタル機構について	18
充電する	19
直線、円弧に切る	21
いろいろな切り方	23

使い方

保守・点検	26
ご修理のときは	裏表紙

その他

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠ 警告**」、「**⚠ 注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が 0℃ 未満、または温度が 40℃ を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。

- 釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

⚠ 警告

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。

⑧ 次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。

⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。

- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠ 注意

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 子供を近づけないでください。

- 作業者以外、工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。
けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。

⚠注意

- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、工具本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合った工具本体を使用してください。**
 - 小形の工具本体やアタッチメントは、大形の工具本体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⚠注意

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスジグソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを作業前に十分確かめてください。
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、工具本体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を停止し、点検・修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ④ 誤って落としたり、ぶつけたときは、ブレード類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注意

- ① ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、ブレードや切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ③ 工具が動作している間は、レバーを動かさないでください。
本体の破損および、けがの原因になります。
- ④ 作業直後のブレードは高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。
- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や工具本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑥ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑦ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑧ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様を除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
14.4 V 蓄電池 (BSL14xx シリーズ) の場合：電池電圧約 8 V まで低下すると停止
このときは速やかに充電してください。
- ② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になると、モーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に工具本体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品（ねじ、釘など）とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (＋)(－)を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

⚠ 警告

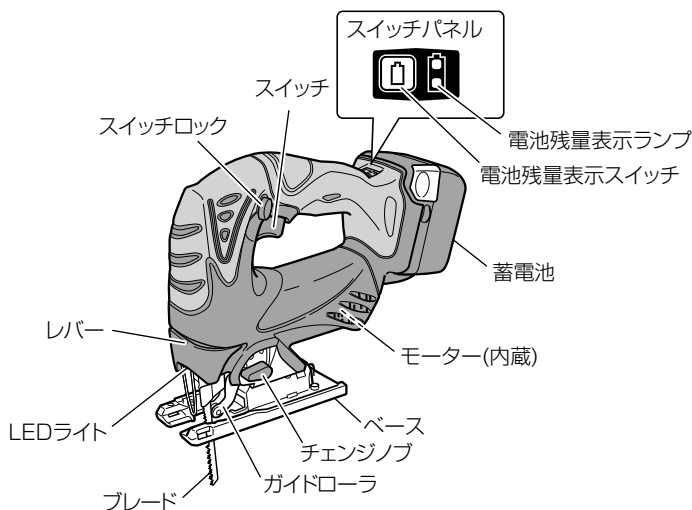
- ⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取り出して使用しないでください。

⚠ 注意

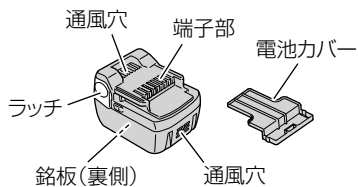
- ① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないで買い上げの販売店にご持参ください。

各部の名称

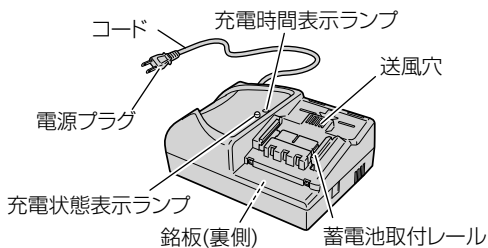
工具本体



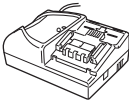
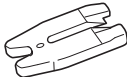
蓄電池



充電器



標準付属品

品名・形名	仕様	SLCK	LLCK	LJCK	NN
① 蓄電池 		BSL1430 1 個 (本体装着)	BSL1440 1 個 (本体装着)	BSL1450 1 個 (本体装着)	—
② 充電器 (UC 18YSL2) 		1 台	1 台	1 台	—
③ ブレード (No. 41) 		1 枚	1 枚	1 枚	1 枚
④ 六角棒スパナ (4 mm) 		1 個 (本体装着)	1 個 (本体装着)	1 個 (本体装着)	1 個 (本体装着)
⑤ チップカバー 		1 個 (本体装着)	1 個 (本体装着)	1 個 (本体装着)	1 個 (本体装着)
⑥ 刃口板 		1 個	1 個	1 個	1 個
⑦ ケース 		1 個	1 個	1 個	—
⑧ 電池カバー 		1 個	1 個	1 個	—

仕 様

1. 工具体

形 名	CJ 14DSL
切 断 能 力	木 材 : 厚さ 135 mm 軟鋼板 : 厚さ 10 mm
無負荷ストローク数 [気温20℃満充電時]	0 ~ 2,400 min ⁻¹ {回 / 分}
ス ト ロ ー ク	26 mm
最 小 切 断 半 径	25 mm
蓄 電 池	円筒密閉形リチウムイオン電池
電 池 電 圧	14.4 V
工 具 本 体 寸 法 全 長 × 高 さ × 幅	268 mm × 213 mm × 76 mm (蓄電池装着時)
質 量	2.3 kg (蓄電池装着時)
LED ラ イ ト	白色 LED
電池残量表示ランプ	赤色 LED
振 動 3 軸 合 成 値 ^{※1}	木材 7.0 m/s ² ^{※2} 軟鋼板 6.1 m/s ² ^{※2}

※1: 振動 3 軸合成値 (周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値) については、
JEMA [一般社団法人日本電機工業会]

ウェブサイト: <http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>
をご参照ください。

※2: 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-11 規格に基づき測定しています。

2. 充電器

形 名		UC 18YSL2	
入 力 電 源		単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V	
充 電 時 間 [気温20℃満充電時]		BSL1850/BSL1825/BSL1450/BSL1425	約 35 分
		BSL1840/BSL1440/BSL1420	約 30 分
		BSL1830/BSL1430/BSL1415	約 22 分
充 電 電 圧		14.4 V - 18 V	
充 電 電 流		BSL1850/BSL1840/BSL1830 BSL1450/BSL1440/BSL1430	7.5 A
		BSL1825/BSL1815/BSL1425 BSL1420/BSL1415	3.5 A
コ ー ド		2 心ビニールコード	
質 量		0.7 kg	
使 用 温 度 範 囲		0℃～40℃	
冷 却		対応 (ファン付き)	
ブ ザ ー 音		あり	

3. 蓄電池

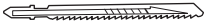
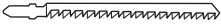
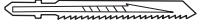
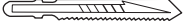
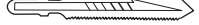
形 名	BSL 1430	BSL 1440	BSL 1450
容 量	3.0 Ah {3,000 mAh}	4.0 Ah {4,000 mAh}	5.0 Ah {5,000 mAh}
冷 却	対応		

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください)

用途に応じた別売部品をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1. 各種ブレード

作業の能率や仕上げを良くするために、加工材の材質や厚さに適したブレードをお選びください

主要 切断 材料	ブレード No.	ブレード形状	山数 / 1インチ	全長 mm	切断能力 mm				
					木材 合板	塩ビ プラスチック アクリル	軟鋼板	ステンレス	アルミ 非金属
木 材	No.1		9 山	88	20~45 (20~35)				
	No.2		12 山	83	20 以下	3~ 20			
	No.1 (ロング)		6 山	160	105 以下				
	No.1 (スーパロング)		6 山	185	135 以下				
	No.11		8 山	105	5~55 (10~55)	5~ 20			
	No.31		9 山	105	20~55 (20~55)				
	No.12		20 山	77	20 以下	10 以下			
	No.21 (仕上用)		6 山	105	5~55 (10~55)	5~ 20			
	No.22 (仕上用)		10 山	105	3~40 (5~40)	3~ 15			
	No.41 (仕上用)		8 山	116	10~65 (10~65)				
	No.1 (仕上用)		12 山	82	2~40 (8~30)	3 以下			
鉄 材	No.123X		10~ 21 山	100			1.5~ 10		
	No.15		8 山	77		5~ 15	3~ 6		3~ 10
	No.16		25 山	77		5 以下	3 以下		3 以下
ス テ ン レ ス	No.97		21 山	77		5~ 15	2~ 5	1.5~ 2.5	5 以下
	No.95		18 山	83		5~ 20	3~ 6	1.5~ 3.2	3~ 12
	No.96		32 山	83		5 以下	3 以下	0.5~ 1.5	3 以下
合 成 樹 脂	No.4		13 山	83		3~ 20			
FRP	グリッド		—	83	FRP 板厚 10mm				

⚠ 警告

別売部品の取付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体からはずしてください。

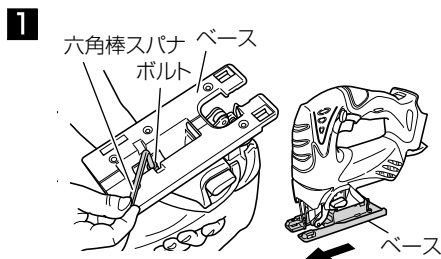
誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。

2. ダストコレクタ

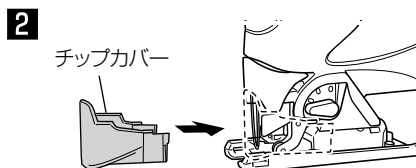
木材などの切断時に発生する切粉を、電動工具用集じん機（別売）を使用して集じ
んする場合に用います。

取付け方

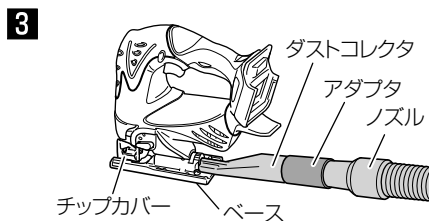
- 1 付属の六角棒スパナを用いて、ベースを固定しているボルトをゆるめ、ベースを一番前の位置にして固定します。



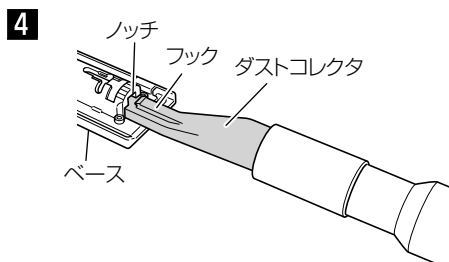
- 2 チップカバーを取付けます。



- 3 ノズルの内径がφ25以下の集じん機を使用する場合は、別途アダプタ（別売）を右図のように接続します。



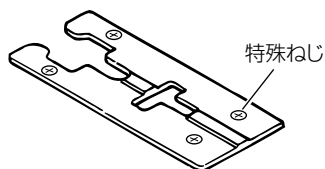
- 4 ダストコレクタのフックがベースのノッチに確実に収まるまで、ベースにさし込みます。



3. 鉄製サブベース

肌の荒れた金属材料などを切る際のベースの保護材としてご使用ください。

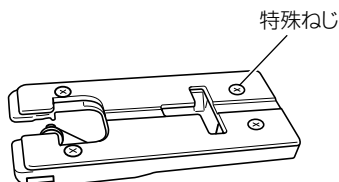
付属の特殊ねじ (4 本) をお手持ちのプラスドライバーで締付けて取付けます。



4. 樹脂製サブベース

各種化粧板や軟質新建材など、切断時に材料表面の傷を極力さけたい場合にご使用ください。

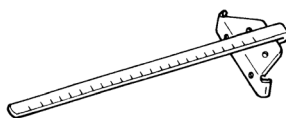
サブベースは付属の特殊ねじ (4 本) をお手持ちのプラスドライバーで締付けて取付けます。



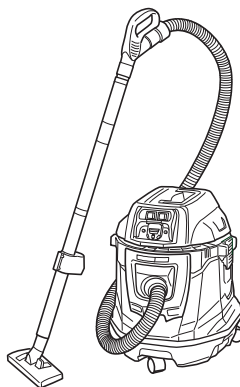
5. ガイド

直線や円弧を切る場合にご利用ください。

詳細な使い方は、P.21、22「直線、円弧に切る」をご参照ください。



6. 電動工具用集じん機



ブレードの取付け・取りはずし

⚠ 警告

ブレードの取付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体からはずしてください。

誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。

取付け方

1 レバーを動かなくなる位置まで開きます。

2 ブレードの刃を前向きにした状態でブレードホルダにさし込み、ブレードにある2か所の突起が完全に見えなくなるまで奥へ押し込みます。

3 レバーをもとの位置に戻します。

4 ブレードを装着した後、ブレードがガイドローラの溝に入っていることを確認します。また、ブレードを軽く引っ張り、抜けないことを確認します。

取りはずし方

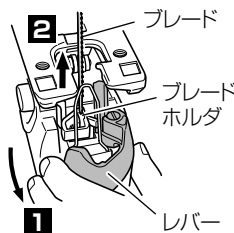
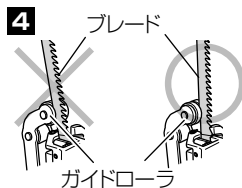
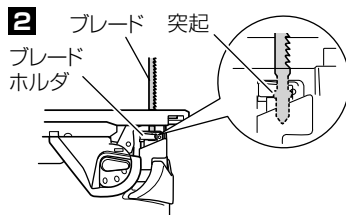
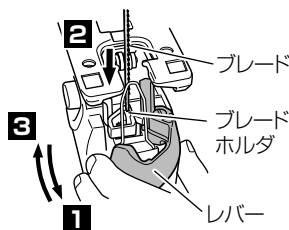
1 レバーを動かなくなる位置まで開きます。

2 ブレードをベース側に引き抜きます。

注 ガイドローラ部には、ときどき潤滑油をさしてください。

⚠ 注意

- ブレードに付着している切粉をふき取り、確実に取付けてください。ブレードの取付けが確実でないと、ブレードがはずれ、けがの原因になります。
- 使用直後のブレードは、高温になっているので、触れないでください。やけどの原因になります。



チップカバーの取付け・取りはずし

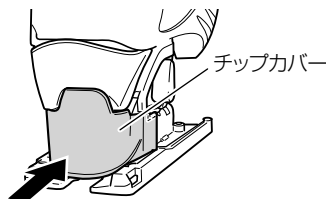
⚠ 警告

- チップカバーの取付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体からはずしてください。
誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。
- チップカバーを取付けて作業する場合でも、保護メガネは必ず使用してください。

チップカバーを取付けると、切粉のはね上がりが少なくなるので切断作業が楽にできます。
作業の状況に合わせてご使用ください。

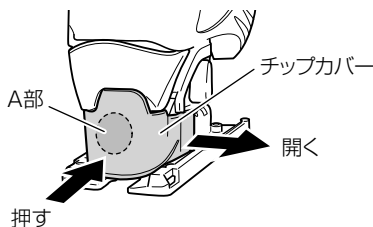
取付け方

チップカバーの凸部が本体の凹部にしっかりと入るように矢印方向に入れます。



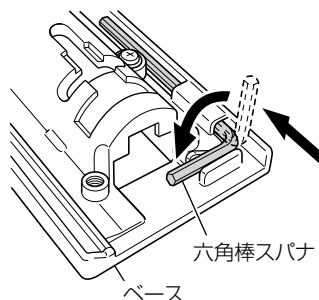
取りはずし方

チップカバーは、A部を押し、左右に開いて取りはずします。



六角棒スパナの収納について

ベースに六角棒スパナを収納することができます。
右図のように収納してください。



刃口板の取付け・取りはずし

⚠ 警告

刃口板の取付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体からはずしてください。

誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。

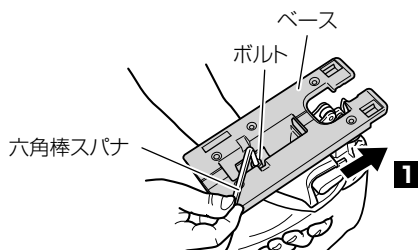
木材の直線切りで、切断面角部のけば立ちを小さくするときには刃口板を使用します。

注 • 刃口板を取付けた状態でブレードの交換はできません。

ブレードの交換は、一旦刃口板を取りはずすか、ベースを最前方まで移動させてから行ってください。

• 刃口板は直線切り以外の切断には使用できません。

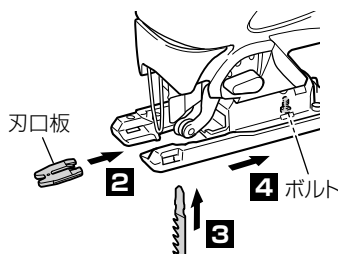
- 1** ベース下部のボルトを付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを最前方まで移動させます。



- 2** 刃口板をベース前面から、奥までさし込みます。

- 3** ブレードを装着します。
(P.13「ブレードの取付け・取りはずし」参照)

- 4** ベースを最後方位置まで戻し、ベース下部のボルトを締付けてベースを固定します。

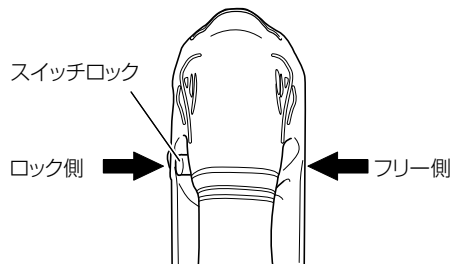
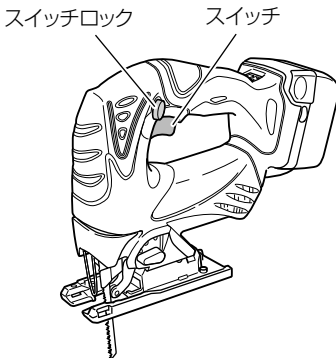


スイッチについて

⚠注意

- 使用しないときは、必ず「スイッチロック」をロック側に押し込んでください。
- ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

- この本体には不用意にモーターが起動しないように、ハンドル上部に「スイッチロック」が付いております。「スイッチロック」をロック側に押し込むとスイッチを引くことが出来ません。
「スイッチロック」をフリー側に押し込むとスイッチを引くことができ、モーターが起動します。
- スイッチの引き量で、ブレードのストローク数を $0 \sim 2,400 \text{ min}^{-1}$ { 回 / 分 } の範囲で変えることができます。
また、スイッチをはなすとブレーキがかかりすぐに止まります。
- スイッチを入れるとLED ライトが点灯してブレードの刃先を照らします。
スイッチをはなすと消灯します。



電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

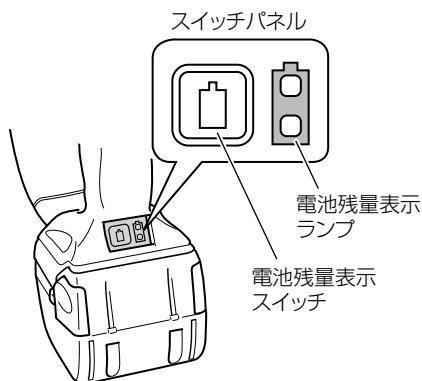
ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

⚠ 注意

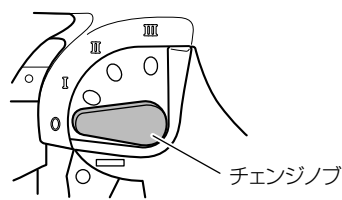
スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。故障の原因になります。

注 電池の消耗を少なくするため、残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。



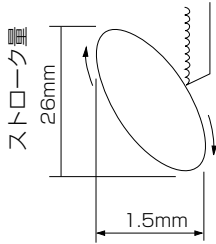
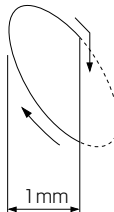
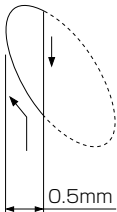
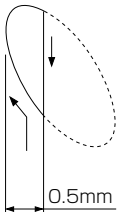
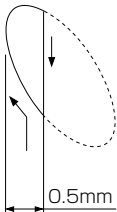
オービタル機構について

この本体はブレードが上下運動と同時に前後にも運動するオービタル運動機構を備えています。
オービタルポジションはチェンジノブを回して設定します。
用途に応じたオービタルポジションを選択してください。



●ブレードの運動

ブレードが上下プラス前後運動するため、特に木材などの軟質材において、切断材への喰い込みおよび切粉の排出が良くなり、切断作業がスムーズに行えます。

オービタルポジション					
ブレードの運動軌道	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	
					
	26mm	1mm	0.5mm	0.5mm	0.5mm
	1.5mm				
	(ガイドローラの位置で)				単なる上下運動

●オービタルポジションの選択 (目安)

最適なポジションは切断する材料の硬さおよび厚さ、切断面の仕上り程度、その他の要因によって左右されるため、あくまでも目安としてご利用ください。

要 因	オービタルポジション			
	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ
材 料 の 硬 さ	軟質材	↔	硬質材	
材 料 の 厚 さ	厚い	↔	薄い	
切 断 速 度	速く切りたい	↔	ゆっくりでもよい	
直線切りか曲線切りか	直線に切る	↔	曲線に切る	
仕 上 り 程 度	悪くてもよい (ケバ立ち、縁欠けなどがあってもよい)			きれいに仕上げたい
材 料 の 保 持 状 態	しっかり固定してある (不安定だと切断時にパツキ易い)			不安定な保持

使
い
方

充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

1

電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。また、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。

2

コンセントを確認する

コンセントがガタついていたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3

電源プラグをコンセントにさし込む

充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P.20「充電ランプの表示について」参照)

4

蓄電池を充電器にさし込む

取りはずすとき



●蓄電池をしっかり突き当たるまでさし込んでください。

●充電を開始すると、充電時間表示ランプが赤 / 橙 / 緑の

いずれかに連続点灯して、充電完了までの時間をお知らせします。

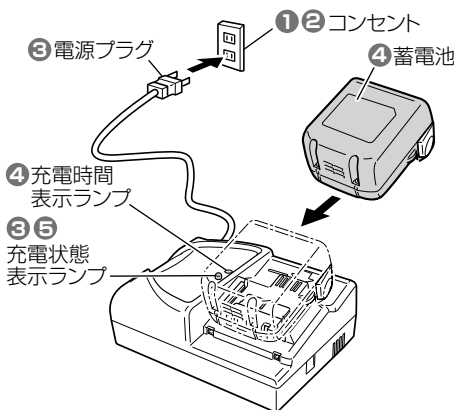
⚠ 警告

手順 ①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

5

充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と 6 秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。



充電時間

BSL1430: 約 22 分

BSL1440: 約 30 分

BSL1450: 約 35 分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電時間の目安を表示する「充電時間表示ランプ」と充電状態を表示する「充電状態表示ランプ」がついています。各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示		表示内容
充電時間 表示ランプ	赤点灯	連続点灯 	充電完了まで約 30 分
	橙点灯	連続点灯 	充電完了まで約 20 分
	緑点灯	連続点灯 	充電完了まで約 5 分
	赤点滅	0.3 秒点灯 / 0.3 秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できません。 (温度が下がると自動的に充電を開始します。)
充電状態 表示ランプ	赤点滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	緑点灯	連続点灯 	充電完了
	橙の速い点滅	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯 	充電器または蓄電池に異常があります。 (下記参照)

注 ● 橙の早い点滅 (0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯) を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約 2 秒鳴るときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取除いてください。

異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。

- 一度充電が完了した後、次の充電まで 5 分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
- 本体を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。
すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
- 本体の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。
無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
- 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下したときは、蓄電池の寿命がつかたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。
寿命のつかた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

○ 新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

直線、円弧に切る

- 木材を直線や円、円弧に切る
- ガイド（別売部品）を使って切る

⚠ 警告

- 切断中は切粉が飛散するので、必ず保護メガネを使用してください。
- 作業中断時や作業後は、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

⚠ 注意

加工材はしっかりと固定してください。

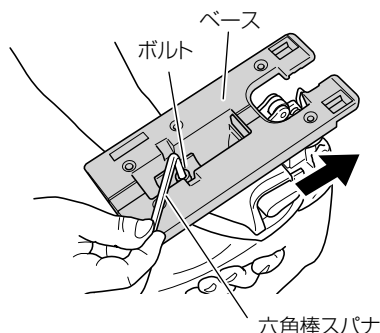
- 注**
- 使用中は、ベースを加工材の面に密着させてください。
ベースと加工材がはなれていると、ブレードが折れる原因になります。
 - 作業の能率や仕上げを良くするため、加工材の材質や厚さに適したブレードを使用してください。

● 直線に切る

材料に切断線を引き、切断線に沿って切断します。端面と平行に切るときはガイド（別売部品）を使用すると便利です。

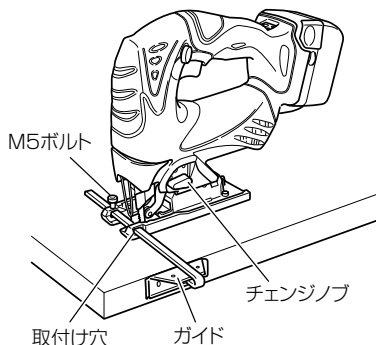
1 ベースを前にずらす

ガイドを取付けるときは、ベース下部のボルトを付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方一杯に移動してボルトを締付けます。



2 ガイドを取付ける

ガイドをベースの取付け穴に通し、ガイドに付属の M5 ボルトを締付けて固定します。



3 オービタルポジションを選択する

用途に応じたオービタルポジションにチェンジノブを回して設定します。チェンジノブ (P.18「オービタル機構について」参照)



●円、円弧、曲線に切る

材料に切断線を引き、切断線に沿って切断します。

材料の途中から切断するときは、あらかじめドリルなどでブレードが入る穴をあけておきます。

円、円弧を切るときはガイド（別売部品）を使用すると便利です。

曲率半径が小さいときはゆっくり切断します。

1 ガイドを取付ける

- 左ページ「直線に切る」①②の手順に従いガイドを取付けます。
- ガイドの向きは右図に示すように案内面を上にします。

2 円の半径を決める

ガイドに設けてある穴とブレードまでの寸法を調節して円の半径を決め、M5 ボルトを締付けてガイドを固定します。

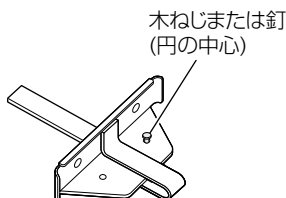
3 オービタルポジションを選択する

きれいな円弧、曲線を切るには、チェンジノブを“0”の位置に合わせます。

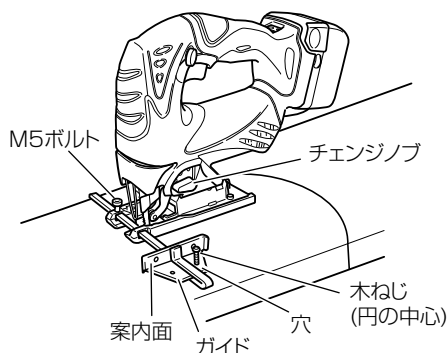


4 円の中心を決める

ガイドの穴に木ねじ（太さ 3 mm）か釘を打ちます。



注 小さい円弧に切断する場合は、送り速さを遅くしてください。無理に速く送ると、ブレードが折れる原因になります。



いろいろな切り方

- 木材の傾斜切り、窓抜き、端面仕上げ
- 金属の切断

⚠ 警告

- 切断中は切粉が飛散するので、必ず保護メガネを使用してください。
- 作業中断時や作業後は、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体体から抜いてください。

⚠ 注意

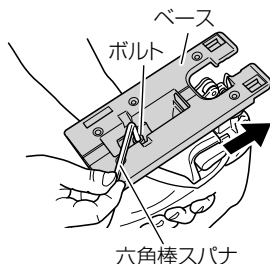
加工材はしっかりと固定してください。

- 注**
- 使用中は、ベースを加工材の面に密着させてください。
ベースと加工材がはなれていると、ブレードが折れる原因になります。
 - 作業の能率や仕上げを良くするため、加工材の材質や厚さに適したブレードを使用してください。

● 傾斜切り

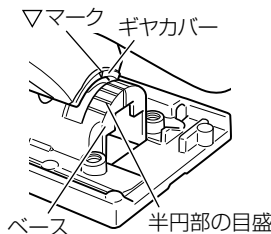
1 ベースを前にずらす

ベース下部のボルトを付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方一杯に移動します。



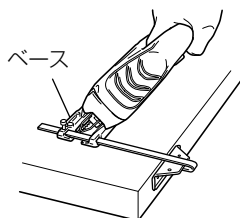
2 傾斜させる

- ギヤカバーの▽マークを目盛りに合わせて、ベース下部のボルトを十分に締付けます。
- ベース半円部の目盛は $0^{\circ} \sim 45^{\circ}$ まで 15° ごとに表示してあります。



3 オービタルポジションを選択する

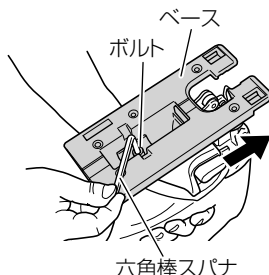
用途に応じたオービタルポジションにチェンジノブを回して設定します。チェンジノブ(P.18「オービタル機構について」参照)



●窓抜き

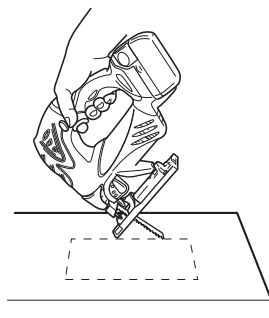
1 ベースを前にずらす

ベース下部のボルトを付属の六角棒スパナでゆるめ、ベースを前方一杯に移動します。



2 切り込む

- ベースの先端を材料に突き当てます。
- 木材の繊維方向にブレードを向け、少しずつ切り込んで切り口を作り、木材の中部から窓抜きします。



注 木材以外の材料は、あらかじめドリルなどでブレードの入るだけの穴をあけ、その穴にブレードを入れて切断します。

●金属切断

1 オービタル運動量を調整する

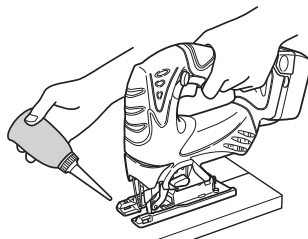
チェンジノブを“0”または“1”の位置に合わせます。



- 注**
- 使用中は、ベースを加工材の面に密着させてください。ベースと加工材がはなれていると、ブレードの破損やはずれ、ブレード保持部の摩耗などの原因になります。
 - 切削油を使用しないと、ブレードの寿命が極端に短くなります。

2 切り込む

- スイッチの引き加減で中速程度で切断します。
- 必ず切削油（スピンドル油、石けん水など）を使用してください。
- 液状の切削油を使用しない場合は、グリースを加工材の裏面に塗ってください。



●ステンレス板の切断

⚠警告

- 切断中は切粉が飛散するので、必ず保護メガネを使用してください。
- 作業中断時や作業後は、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体体から抜いてください。

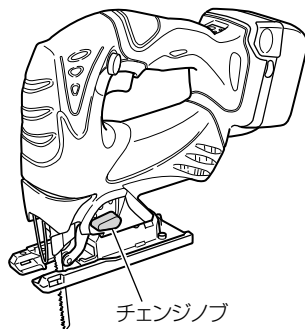
⚠注意

加工材はしっかりと固定してください。

- 注**
- 使用中は、ベースを加工材の面に密着させてください。
ベースと加工材がはなれていると、ブレードが折れる原因になります。
 - 作業の能率や仕上りを良くするため、加工材の材質や厚さに適したブレードを使用してください。

1 ブレードを交換する

- ステンレス板の切断には、別売部品のNo. 95～97のブレードを使用します。
(P.10「別売部品」参照)
- P.13「ブレードの取付け・取りはずし」の手順に従いブレードを交換します。



- 注**
- ブレードのスピードが上がると速く切れますがブレードの寿命が短くなります。また、下ると寿命は延びますが、切断速さが低下します。
調整してお使いください。

2 ブレードを上下運動のみにする

チェンジノブを“0”の位置に合わせます。



チェンジノブ

3 切り込む

スイッチの引き加減で中速程度で切断します。

保守・点検

⚠ 警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池をコードレス工具体から抜いてください。また充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● ブレードの点検

ブレードの切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理をかけることになり、また効率も落ちますので早めに新品と交換してください。

● モーターの取扱について

モーター部 (P.7「各部の名称」参照) の巻線は工具の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

● お手入れする

工具体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

● 取付ねじの点検

工具体のねじがゆるんでいないか、点検してください。
ゆるんでいたら、締直してください。

●作業後の保管

作業後は、温度が 50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

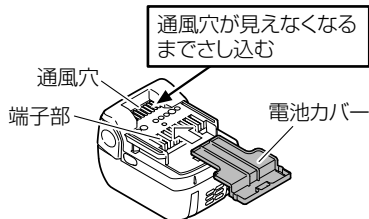
- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

●リチウムイオン電池の保管について

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池はコードレス工具体体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



- 注**
- リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3ヶ月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。



メ 毛

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00 ~ 17:00	
●フリーダイヤル  0120-20-8822	※携帯電話からはご利用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待たせする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 6738-0872	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>